

メールシステム

1. 概要

メールシステムでは、Gmail (Google Apps for Education) 及び学内メールサーバにてメールサービス¹を提供している。本学宛に届いたメールを双方のシステムで受信可能とし、スパム対策には 6th Stage からクラウド (Google Apps, Office365) を採用している。また、メール誤送信対策サーバーも導入しセキュリティ強化を図った。

2. 利用状況

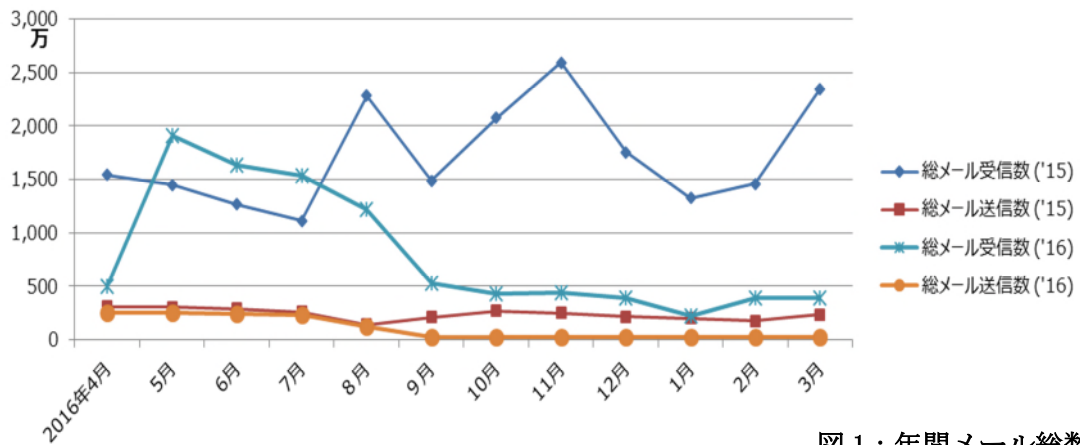


図1：年間メール総数

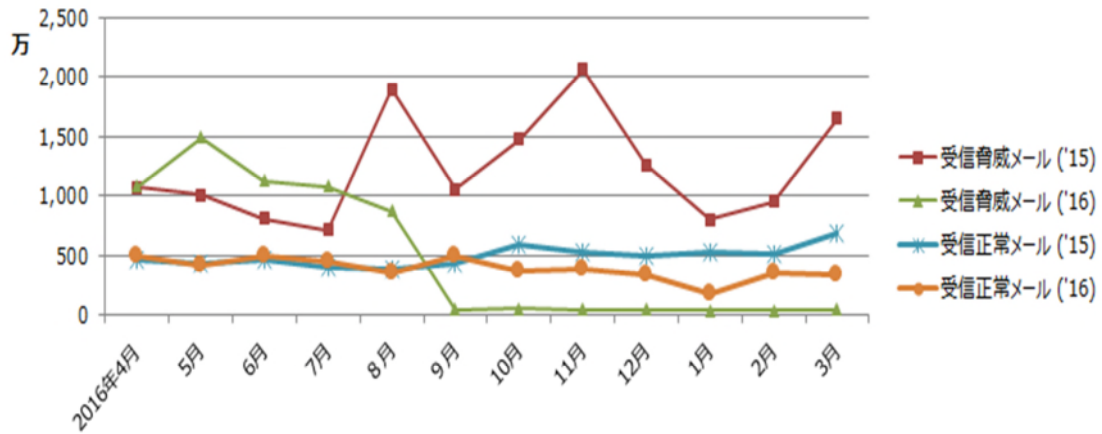


図2：年間受信内訳

¹ Office 365 Education のメールサービスは準備中。提供時期は未定。

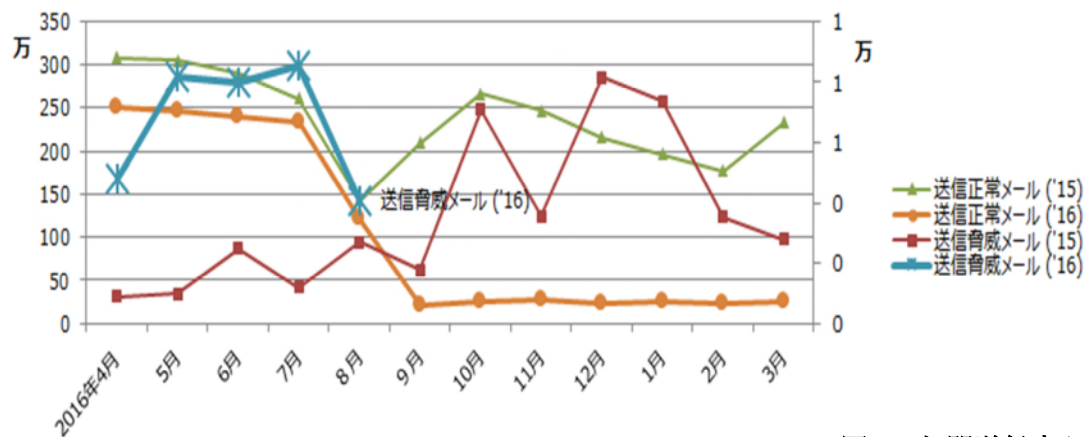


図3：年間送信内訳

3. 2016年度のまとめ

夏にスパム対策として導入していた IronPort を撤去し、スパムの検知については新たにクラウドを採用した。クラウドの学習機能により、通常のメールが誤検知として迷惑メールフォルダに隔離されることは、徐々に少なくなっていくと予想される。

またメールの集計方法について、8月までは IronPort だったが、9月から Gmail の管理ツールによる送受信集計に変更としている。そのため、脅威メールのカウントについては外部からの受信メールのみとなっている。